



第49期 株主通信

2017年5月1日 ▶ 2018年4月30日

Financial Report

株式会社アインホールディングス

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社グループに温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、第49期（2017年5月1日から2018年4月30日まで）の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

わが国の経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢の改善を背景として、景気は緩やかに回復しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店およびM&Aによる事業拡大をはじめ、コスメ&ドラッグ事業を推進し、グループの事業規模および収益拡大に努めてまいりました。

今後も一層の企業価値向上に取り組む所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては、何卒ご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
大谷 喜一

Q 今期の業績はいかがでしたか。

前期出店および既存店が堅調に推移し、売上高は前期比8.2%の増加となり、経常利益は売上高の増加および業務改善によるコスト低減により、前期比33.5%の増加となりました。

ファーマシー事業（※1）におきましては、前期出店の寄与に加え、既存店の処方箋枚数・単価の上昇により、売上高は前期比7.6%の増加となりました。

リテール事業におきましては、前期出店の寄与および、新宿東口店をはじめとした既存店の認知度向上により、売上高は前期比12.8%の増加となりました。また、プライベートブランド（PB）の積極的な展開、仕入れの全般的な見直しおよび、業務効率化にともなうコスト低減により黒字化を達成しました。

その結果、連結の売上高は2,683億8千5百万円（前期比8.2%増）となり、経常利益は201億2千9百万円（同33.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は105億6千7百万円（同32.9%増）となりました。

また、グループ店舗総数はM&Aを含めた40店舗の出店と、店舗運営の見直し等による81店舗の閉店により、1,077店舗（同41店舗減）（※2）となりました。

（※1）当連結会計年度より、報告セグメントの名称を変更しており、従来の「医薬事業」を「ファーマシー事業」に、「物販事業」を「リテール事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

（※2）2018年4月期末時点

Q ファーマシー事業の展開についてどのようにお考えですか。

より患者さまにとって利便性の高い調剤薬局を展開し、引き続き「かかりつけ薬剤師・薬局」としての質向上、人材育成の強化を続けてまいります。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化およびジェネリック医薬品の使用を促進しております。また、医療業界における深刻な薬剤師不足が続くなか、新卒採用を積極的に行い、2018年4月には、279人の新卒薬剤師が入社いたしました。今後もかかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化してまいります。営業開発においては、調剤薬局の新規出店およびM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進するとともに、店舗運営の見直しを進めてまいります。

ファーマシー事業 売上高・店舗数の推移

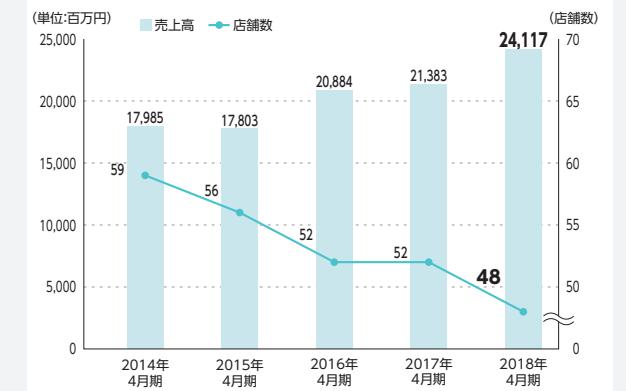


Q リテール事業の展開についてどのようにお考えですか。

より一層の首都圏への積極的な出店およびブランディング強化により、さらなる収益の拡大を目指してまいります。

同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競争により、なおも厳しい市場環境が続いております。このような環境において、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の首都圏への出店とともに、既存店の改装および関連商品を中心とするMD強化による集客力向上に努めており、既存店売上高は前年を上回って推移しております。今後も「リップス&ヒップス」および「ココデシカ」をはじめとするPBの積極的な展開に加え、全般的な仕入れの見直しにより粗利率を向上させ、首都圏における収益性の高い出店を継続的に実施することで、収益を改善させてまいります。

リテール事業 売上高・店舗数の推移





ファーマシー事業 Pharmacy Business

2018年4月の調剤報酬改定では、引き続き対物業務から対人業務への構造的な転換を進めることを目的として、かかりつけ薬剤師・薬局の評価が推進される内容となりました。また、医療業界での薬剤師不足は継続的な課題となっており、そのような環境下、当社グループでは、新卒採用および人材育成を積極的に行うことで、高度医療から、かかりつけ薬局機能強化、在宅医療、健康サポートまで、患者さまや地域の方々にとって心強い存在となるべく、取り組んでまいります。

2018年4月期はM&Aを含めた36店舗を出店し、店舗運営の効率化を目的に73店舗を閉店・譲渡した結果、調剤薬局総数は1,029店舗となり、売上高は2,386億4千5百万円（前期比7.6%増）、セグメント利益は226億6千8百万円（同18.6%増）と増収増益となりました。

topics

「アイン薬局 遠軽店」オープン

2018年4月、JA北海道厚生連 遠軽厚生病院を主応需とする「アイン薬局 遠軽店（北海道紋別郡）」がオープンいたしました。365日・夜間の救急外来も対応しており、北海道最大規模かつ当社グループの中でも屈指の大型調剤薬局となっております。また、出店直後より多くの患者さまにご利用、ご好評いただいております。今後も地域の方々の健康をともに考える薬局として、皆さまの薬物治療をサポートしてまいります。



アイン薬局 遠軽店



快適にお待ちいただけるよう清潔感のある内装

高度薬学管理に対応したシミュレーション研修を実施

2017年6月、北海道大学、社会医療法人社団カレスサポートと連携した高度医療シミュレーション研修を実施いたしました。この研修では、今後ますますの増加が予測される在宅医療における知識と技術の習得を目指しております。さらに、病院薬剤師と薬局薬剤師のさらなる連携強化を図り、地域包括ケアシステムの整備を促進してまいります。



高度薬学管理シミュレーション研修



在宅医療における技術の習得を目指す

調剤薬局業界で初めての「白衣授与式」を開催いたしました

2018年4月、調剤薬局業界では初めての試みとなる「白衣授与式」を開催いたしました。当社グループの先輩薬剤師より、新卒薬剤師に向けて白衣の授与を行い、薬剤師の心得をまとめた「アイン薬剤師の誓い」を唱和いたしました。今後さらに高度化が予想される薬物療法に対応できる薬剤師を育成すべく、新卒採用および人材育成に取り組んでまいります。



白衣授与の様子



2018年度は279人の新卒薬剤師が入社



リテール事業

Cosmetic & Drug
Store Business

「アインズ&トルペ」は、女性が「らしく・楽しく・美しく」毎日を大切に生きるためのトータルビューティショップとして、女性が時間をかけてじっくりとアイテム選びを楽しめる、明るくて清潔感のある店舗を札幌および首都圏を中心に展開しております。PBの積極的な展開、仕入れの見直しをはじめ、旗艦店舗である新宿東口店（東京都新宿区）を中心とした認知度の向上により、既存店売上高は前年を上回る水準で推移しております。

2018年4月期は、アインズ&トルペ 小田急百貨店町田店（東京都町田市）、丸井吉祥寺店（東京都武蔵野市）、グランエミオ所沢店（埼玉県所沢市）を含む4店舗を新規出店し、郊外型店舗を中心に8店舗を閉店したことで、リテール事業の店舗総数は48店舗となりました。その結果、売上高は241億1千7百万円（前期比12.8%増）、セグメント利益は黒字化を達成し6億5千7百万円（前年同期は8億6千6百万円のセグメント損失を計上）となりました。

topics

アインズ&トルペ 小田急百貨店町田店オープン

2017年8月、小田急線町田駅の駅ナカ「ODAKYUぶらっとテラス」2Fに「アインズ&トルペ 小田急百貨店町田店」がオープンいたしました。通勤・通学等で小田急線町田駅を利用される方々を中心に、より多くのお客さまにご利用いただけるよう、コスメだけではなく一般医薬品等のさまざまな商品も取りそろえております。



アインズ&トルペ 小田急百貨店町田店



PBの「リップス&ヒップス」も充実

アインズ&トルペ グランエミオ所沢店オープン

2018年3月、西武池袋線所沢駅直結の商業施設「グランエミオ所沢」に、「アインズ&トルペ グランエミオ所沢店」がオープンいたしました。コミュニケーションアイコンとして起用したオードリー・ヘプバーンの肖像を展開しており、より華やかで楽しんでいただける店舗づくりに取り組んでまいります。



アインズ&トルペ グランエミオ所沢店



オードリー・ヘプバーンが華やかさを演出

プライベートブランド 「リップス&ヒップス」

LIPS and HIPS

「あなたが持っている女性らしさを最大限に引き出したい」。リップス&ヒップスは、そんな思いから生まれたブランドであり、フェイスクアからボディケア、ヘアケアまで、日本人の肌のことを考え、女性の気持ちを満足させるための香りやデザインを組み合わせせたコスメブランドとなっております。



「リップス&ヒップス」より 期間限定新商品のご紹介

2018年6月、数量限定「パウダリーアクアの香り」のボディケア・フレグランスアイテムを発売いたしました。



オードリー・ヘプバーンを当社グループのコミュニケーションアイコンとして起用いたしました

オードリー・ヘプバーンは、女優として、また晩年にはユニセフ（国際連合児童基金）親善大使として、その美しい生き方で、現在でもなお世界を魅了し続ける存在となっております。

オードリー・ヘプバーンのような「時代を超えて輝きを放つ美しい生き方」と、当社グループの「社会に貢献し、すべての人々に寄り添う企業としての今後の在り方」を重ねあわせ、オードリー・ヘプバーンの言葉とともに実現してまいります。

ビジュアルと言葉をアイングループのテーマとして、アインズ&トルペの広告やポスター等に反映されるほか、薬局等のグループ内においてご利用者さまに幅広く発信いたします。



ご利用者さまへお渡しするツールの準備を進めております



アユラの商品をご紹介します

2015年にグループ入りした「アユラ」は、あらゆるストレスに「負けない肌」をつくるコスメブランドとしてリブランディング中です。ストレスのせいで肌も気持ちも落ちてしまっても、素早く肌も心も元気に・明るくなるような商品と、ストレスを受けたダメージ肌を美しくするための提案をお届けいたします。

AYURA



多数のコスメ賞を受賞

2017年9月発売の「リズムコンセントレート」および、2018年5月発売の「オイルシャットデイセラム」が、『美的』『MAQUIA』をはじめとする美容雑誌や、美容総合サイト@cosmeにて、多数のコスメ賞を受賞いたしました。



ダメージ肌モニター91%*が満足した、乾燥や紫外線等で不安定になった肌リズムを整える美容液 ※自社調べ

リズムコンセントレート
40mL 8,000円（税抜）



べたつき・テカリ・乾燥による化粧くずれを防ぎ、快適なさらっと肌をキープする朝用練り美容液

オイルシャットデイセラム
10g 2,500円（税抜）

2018年8月31日、待望の新発売ダメージで不安定になった肌リズムを整える美容液「リズムコンセントレート」に待望のマスクが新発売いたします。



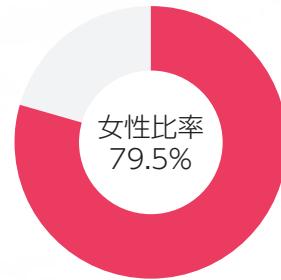
肌のコンディションを整え、明るく引き締まった印象へ導く美容液マスク

リズムコンセントレートマスク
6枚入り 6,000円（税抜）

女性の活躍を推進してまいります

当社グループの従業員に占める女性比率は79.5%であり、多数の女性が活躍する企業となっております。「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定し、女性管理職比率を現在の31.9%から50%に引き上げることを目標とする等、今後も女性の能力が発揮できる場を増やし、女性の積極登用に向けて取り組んでまいります。

■ 従業員の女性比率



■ 管理職の女性比率

管理職（全体）	31.9%
取締役	17.9%
執行役員	31.3%
部長	13.5%

■ 産休・育休・育児短時間勤務取得者

産前産後休暇	219人
育児休暇	432人
育児短時間勤務	534人

▶2018年4月期
▶管理職（全体）：本部の係長職以上および薬局長、店長



地域の発展に努めてまいります

当社グループは、地域社会との連携と協調を図り、地域の発展や豊かな生活環境づくりに、貢献してまいります。

■ さっぽろまちづくりパートナー協定への参加

「さっぽろまちづくりパートナー協定」では、札幌市の複数分野における事業連携や企業の自主的なまちづくり活動への参加を取り決めております。当社グループは、札幌市と連携することで、双方の強みを生かしながら「市民力を結集したまちづくり」に取り組んでおります。



■ こども職業体験を開催

夏休み期間を中心に小学生を対象とした「こども職業体験」を開催しております。薬局薬剤師の仕事を体験することで、薬局の存在を身近に感じていただき、薬局の役割を深く理解していただく機会となっております。



ガバナンスの強化に取り組んでまいります

当社グループは調剤薬局およびコスメ&ドラッグストアのチェーン展開を事業の柱としており、いずれも人々の健康を担う性質上、コンプライアンスを最重視した健全かつ透明な事業活動を継続することが不可欠と認識しております。拡大する市場に対して、迅速な意思決定が必要とされる事業環境下においても、これらを実現する体制を確保するため、当社は監査役制度を採用しており、経営上重要な意思決定および取締役の業務執行のほか、経営全般に対する監督機能を発揮しております。

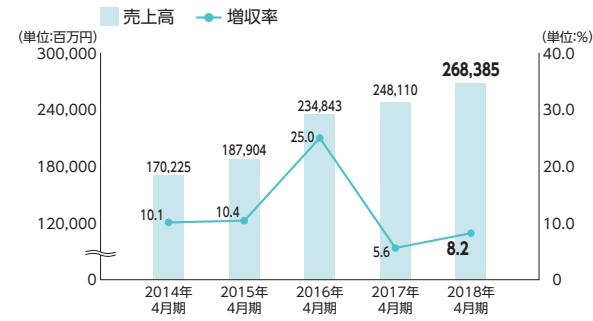
また、取締役相互の経営監視が機能するよう、毎月1回以上開催の取締役会をはじめ、毎週1回取締役および常勤監査役が出席する経営会議を実施しております。

■ コーポレート・ガバナンスの状況

取締役数	9人(社外取締役3人を含む)
監査役数	3人(社外監査役2人を含む)
取締役会実施数	12回
社外取締役出席率	97.8%
監査役会実施数	12回
社外監査役出席率	91.7%
経営会議実施数	52回

▶2018年4月期

売上高 2,683億8千5百万円



売上高 8.2%増

前期出店、既存店が堅調に推移し 売上高過去最高を更新

運営効率化を目的として81店舗を閉店するも、M&Aを含む40店舗の新規出店に加え、前期出店および既存店が堅調に推移し、売上高は前期比8.2%の増収となりました。

経常利益 201億2千9百万円

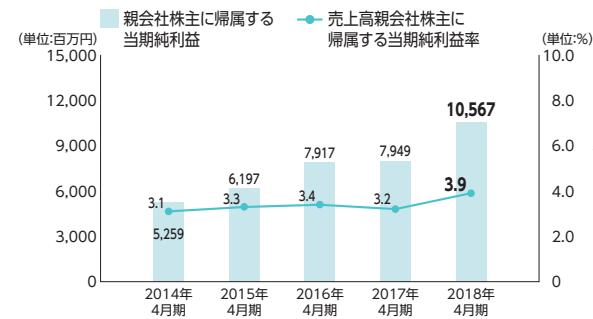


経常利益 33.5%増

ファーマシー事業の売上高増加、リテール事業の黒字化により増益

ファーマシー事業での堅調な売上高増加および仕入れの見直し等によるリテール事業の黒字化により、経常利益は前期比33.5%の大幅な増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益 105億6千7百万円

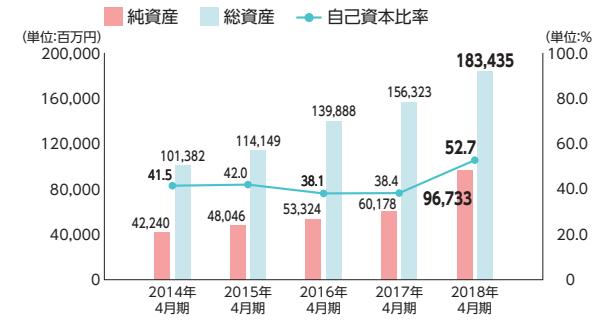


親会社株主に帰属する当期純利益 32.9%増

運営効率化により利益を確保し、継続的な成長の原動力に

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比32.9%増と最高益を更新しました。今後も運営効率化により利益を確保しつつ、継続的な成長に向け投資してまいります。

純資産 / 総資産 / 自己資本比率



純資産 60.7%増

増資実施でより強固な財務体質へ

2017年9月に実施した公募増資および第三者割当増資により、純資産は前期比60.7%増となり、自己資本比率は52.7%となりました。

1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益



1株当たり純資産 44.0%増

株式分割前の水準に

1株当たり純資産は前期比44.0%増、1株当たり当期純利益は前期比23.7%増となり、株式分割前の水準となりました。

※2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
2015年4月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産および1株当たり当期純利益を比較しております。

1株当たり配当金 / 配当性向



1株当たり配当金 50円

1株当たり配当金は50円を維持

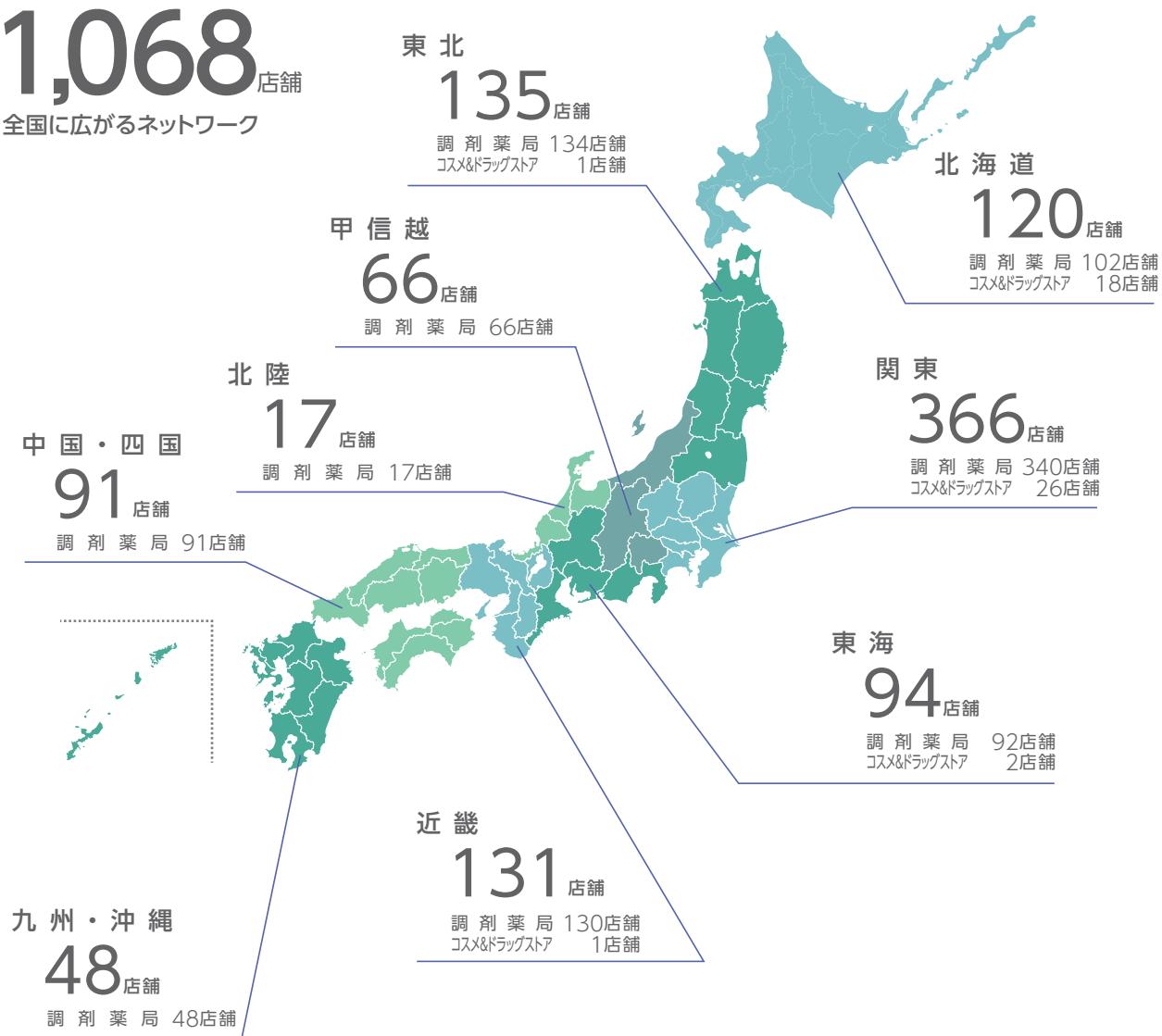
1株当たり配当金は50円を維持し、配当性向は16.1%となりました。これからも継続的な企業成長により、株主の皆さまへの還元を行ってまいります。

※2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

アイングループ

1,068 店舗

全国に広がるネットワーク



商号 株式会社アインホールディングス
本社 札幌市白石区東札幌5条2丁目4番30号
 TEL (011) 814-1000 (代表)
設立 1969年8月
資本金 218億9,497万円
従業員 9,603人 (パート含む) (グループ連結)
事業内容 調剤薬局・コスメ&ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品の販売等、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営

役員構成

代表取締役社長	大谷 喜一
代表取締役専務	櫻井 正人
代表取締役専務	首藤 正一
代表取締役専務	水島 利英
常務取締役	大石 美也
取締役	木明 理絵子
取締役	淡路 英広
取締役	酒井 雅人

株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 35,428,212株
 株主数 5,360名
 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
大谷 喜一	3,238	9.14
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	2,750	7.76
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,594	4.50
株式会社北海道銀行	1,472	4.15
MSIP CLIENT SECURITIES	1,391	3.93
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,186	3.35
株式会社北洋銀行	1,085	3.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	965	2.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	820	2.32
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	789	2.23

(注) 1. 2017年9月6日を払込期日とする公募による自己株式の処分により、自己株式は180,000株減少しております。
 2. 持株比率は自己株式(688株)を控除して計算しております。
 3. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものです。

取締役 (社外)	森 洸
取締役 (社外)	濱田 康行
取締役 (社外)	木村 成樹
取締役 (社外)	遠藤 典子
常勤監査役	川村 幸一
監査役 (社外)	居林 彬
監査役 (社外)	村松 修

(2018年7月31日現在)

株 主 メ モ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月開催
基準日	毎年4月30日
配当金受領株主確定日	その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。 毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	<p>支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。 ・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 ・みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。 	

公 告 方 法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<http://www.ainj.co.jp/>)といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。